

国際シンポジウム

主催:フリードリヒ・エーベルト財団(FES) 自然エネルギー財団(JREF)

協力:日独産業協会(DJW)

日本とドイツのエネルギーシフト - 日独協力の課題と展望

◆ 日時: 2013年4月19日(金) 13:00~20:00

※公開パネルディスカッション(18:00~20:00)に限り、お申込みを受け付けております。

◆ 会場: ドイツ文化会館 OAG ホール (東京都港区赤坂 7-5-56)
(入場無料、日独同時通訳付き)

[第1部] 13:00~17:30 専門家会議 (非公開)

開会の挨拶: トルステン・シェーファー・ギュンベル (ヘッセン州社会民主党 州議会代表)、
スヴェン・サーラ (フリードリヒ・エーベルト財団 東京事務所代表)、
ゲアハルト・ヴィースホイ (日独産業協会/DJW 理事長)

提言:

大林ミカ (自然エネルギー財団 ディレクター)

ハンス-ヨアキム・ツィーピング (環境・気候変動コンサルタント)

パネル1: 日本とドイツのエネルギーシフトの社会的・政治的課題

飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所)

佐藤栄佐久 (前福島県知事)

レギーネ・ギュンター (WWF ドイツ 気候・エネルギー政策担当)

パネル2: 日本とドイツのエネルギーシフトにおける技術・財政面の課題

ファビオ・ロンゴ (弁護士、EUROSOLAR Germany 理事)

河口真理子 (大和総研)

ヴェルナー・ゲンター (復興金融公庫 /KfW)

高橋洋 (富士通総研)

[第2部] 18:00~20:00 公開パネルディスカッション

(開場: 17時40分)

開会の挨拶: フォルカー・シュタンツェル 駐日ドイツ連邦共和国大使

パネルディスカッション 「日本とドイツのエネルギーシフト: 日独協力の展望」

パネリスト: 福山哲郎 (参議院議員、前官房副長官)、佐藤栄佐久 (前福島県知事)、

高橋洋 (富士通総研)、トルステン・シェーファー・ギュンベル (ヘッセン州社会民主党 州議会代表)、
ハンス-ヨアキム・ツィーピング (環境・気候変動フリーコンサルタント)

モデレーター: 飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所)

総合司会: 大林ミカ (自然エネルギー財団 ディレクター)

お申込み: Eメールにて、ご氏名・ご所属・メールアドレス・ご来場人数を明記の上、件名を「4月19日シンポジウム」として register@fes-japan.org までお申込み下さい。(お申込みに対するご返信はございません。お申込みが定員に達した場合にのみ、恐れ入りますがお断りのメールをお送りさせていただきます。)